

コストについて

リフォームの場合

主なりリフォーム費用の目安 1 ※あくまで目安とお考え下さい

玄関

- 壁面に手すり取付、土間に踏み台設置 約5万円～7万円
上がり框での上り下りをしやすくするために、段差を2分する踏み台を設置。
ホール壁面に手すりを設置。
- 玄関ドアを引戸に交換 約50万円～80万円
既存ドアと小壁を撤去して、2枚引戸（既製品）に交換

階段

- 階段壁面に連続手すり取付 約10万円～12万円
壁面下地を合板で補強し、連続する手すりを設置。手すりは木製滑り止め付
- 階段昇降機設置 約75万円～90万円
直線型階段に階段昇降機を取付

浴室

- 浴室出入口の段差解消と出入しやすい浴槽へ交換 約50万円～80万円
出入口の段差をなくすために、浴室の床をかさ上げし、浴槽をまたぎやすく、足を伸ばせる商品に取り替えて、浴槽脇に腰掛けてから出入できるように入浴台を設ける。
- 浴室出入口の段差解消、浴槽出入用リフト設置、ドアを折れ戸に交換 約80万円～100万円
シャワーチェアのアプローチのためのすのこで段差解消。浴槽への出入のためのリフト設置、ドアの段差を解消するため木製折れ戸を特注。
- 浴室に手すり取付、すのこ設置 約10万円～15万円
すのこで段差解消。出入口に縦手すりと壁面に横手すりを取り付ける。
- 浴室暖房乾燥機を取り付ける 約10万円～15万円
浴室暖房乾燥機は、既存のバス換気扇を利用して取り付けることができ、工事は約2万～3万円。機器は8万円ぐらいからある。

トイレ

- 便器へのアプローチと、手すり取付 約5万円～7万円
出入口段差箇所に縦手すり、便器へのアプローチのために横手すり、便器への着座のためにL型手すりを取り付ける。
- 間仕切り変更と、3枚引戸設置 約40万円～50万円
自走用車いすで出入し、便器へアプローチをするため、スペースを広げるために間仕切り。出入口は3枚引戸にして開口幅を広くし、必要箇所に手すりを設置。

外構

- 縁先に木製デッキとスロープ設置 約50万円～70万円
縁側から車いすで出入するため、縁台を撤去して、手すり付きの木製デッキとスロープを設置。家族の通行のため、デッキの端に木製階段設置。
- テラスに段差解消機設置、コンクリート打設工事 約80万円～100万円
車いすで出入するため、居室外のテラスに段差解消機を設置。テラスを広げ、その先ま道路まで緩やかな勾配のコンクリートスロープを設置。

その他

- 床を張り替える 約8万円～
(6畳) 既存の床を剥がして、張り替えるだけなら6畳でフローリングが約4万円～、工事費が約4万円。床の下地が傷んでいて、根太などを交換すると高くなる。
- 壁紙を新しくする 約4万円～5万円
(6畳) 一般的なビニールクロスを6畳の壁・天井に張って材料費が約1万円。剥がし手間などを含む工事費が約3万～4万円。
- 珪藻土塗り壁にする 約15万円～
(6畳) 珪藻土は、調湿・消臭効果があり、ホルムアルデヒドなど揮発性有機化合物を吸着・分解してくれる塗り壁材。材料費はさほどでもないが、塗り手間代が壁紙の張り手間代よりもかさむ。
- 床暖房を入れる 約40万円～
(6畳) 電気式の床暖房は既存の床に重ねて設置すると安く左の値段。床を解体して設置する場合はもっと広いスペースに設置することが多く、8畳2室で約90万円～。
- 外壁を塗り替える 約70万円～100万円
高圧洗浄して汚れを落とし、下塗り、上塗りを2回程度する費用。使用する塗料のグレードによっても費用は変わる。延床面積約115m²の一戸建てで。
- 屋根を葺き替える 約80万円～120万円
屋根面積50m²程度の場合。傷んだ下地の補修を行って、瓦屋根などを化粧スレートの普及品で葺き替える費用。葺き替えの材料のグレードで費用が変わる。
- 耐震補強する 約5万円～
(半間の壁) 筋交いや面材、補強金物を使って耐震補強を行う場合の費用。4カ所で約20万円～。傷み具合や状況によって工事内容が変わるので、一概にはいえない。
- 基礎を補強する 約80万円～100万円
(約50m²) 床下の全面に鉄筋コンクリートを打つ「ベタ基礎」で補強した場合。床を剥がすので全面リフォームのときなどに行う方法。